

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 702 2026年 4月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

生活を支え、寄り添う透析医療

新たにシャントエコーを導入、送迎車も増便に

代々木病院透析室では、「患者さんの立場に立った親切でよい医療」をめざし、友の会の皆さまや地域住民の方々とともに歩んできました。透析治療は長く続く医療だからこそ、安心して通い、納得して治療を受けていただける環境づくりが何より大切です。患者さんに寄り添う透析治療の様子と、新たな取り組みについてご紹介します。

透析療法とは？

そもそも透析療法とは、ルターを通して体に溜まった毒素と水分を抜く治療を指します。臓機能が低下した患者さんに腎臓の機能を代わり、回につき4時間の透析として血液を特殊なフィルターに通します。

安全・安心の治療環境のために



透析室スタッフのみなさん

フットチェックの実施

透析患者さんは糖尿病を原疾患として持つ方が多く、免疫力が低下しており、足にけがをした場合に悪化しやすい傾向があります。そのため、月1回フットチェックを実施しています。患者さんが足を失うことがないように予防しています。

生活を支え、寄り添う透析のために

透析治療は一生続けなければなりませんので、どうしても患者さんに寄り添うことができるか日々試行錯誤しています。昨今、アドバンス・ケア・プランニング（ACP・人生会議）という言葉が広まりつつあります。もしもの時のために、自身が望む医療やケアについて良い提案ができることを考えています。個別に時間をとお取りいただき、お話を伺うことで様々な発見があります。今後も患者サポートセンターやケアマネジャー、訪問看護師・訪問介護士とともに1つのチームとして患者さんの生活を支えていきたいと思っております。

送迎車を増便し、通院しやすくなりました

エコーでシャント状態を確認



新シャントエコー導入

このたび透析室では、大切な血管です。エコーシャントの状態を詳しく確認できる「シャントエコー（超音波検査）」を導入しました。シャントは透析治療に欠かせない身体への負担を軽減できるだけでなく、安全で安定した透析治療を続けていくための大きな一歩です。

通院に対する負担を少しでも軽くするため、透析患者さん向けの送迎車を増便しました。天候の悪い日や体調に不安がある日でも、安心して通院していただけるよう配慮していただけたら幸いです。地域で治療を続けられる軽にご相談下さい。

2026健康まつり

開催のお知らせ 【日時】 5月16日(土) 正午～午後3時 小雨決行 【場所】 代々木病院 【主催】 健康まつり実行委員会 入場無料!!

☆楽しい企画を準備中です。代々木病院のホームページ(QRコード)で準備状況を更新してお知らせします。ぜひ、ご覧ください♪



千駄の萱

▼2月から始まったイランへの攻撃は、米海軍横須賀基地を母港とする艦船から、イランへ巡航ミサイル・トマホークが発射されるまで悪化しました。作戦名「壮絶な怒り」によるこの先制攻撃は、軍事拠点のみならず都市部をも襲い、小学校で百名を超える児童が犠牲になるなど甚大な民間人被害を招いています。

▼米・イスラエルがおこなったこの愚行は、この攻撃が国連憲章を無視した他国への主権侵害であり、国際社会から「侵略犯罪」として猛烈な批判を浴びている点です。力による体制転換の追求が、更なる不安定化と憎しみの連鎖を生んでいきます。日本がトマホーク配備を進める中、米軍の先制攻撃と事実上一体化し、専守防衛の理念が空洞化しかねない事態は日本を「戦争をしたい国」につき動かしかねません。

▼武力行使を正当化する覇権主義は決して許されません。日本政府は沈黙を排し、国際秩序の根幹である国際法を順守するべきだと毅然と訴え、平和的な対話への道を模索すべきです。